

岡山市政ニュース 速報版

2020年8月11日 日本共産党 岡山市議団 NO. 252
岡山市北区大供1-1-1 086-803-1707

誰でも いつでも 何度でも PCR検査を

市長に第5次緊急申し入れ
皆の声届けて実現めざします

日本共産党岡山市議団は7日、新型コロナ問題でPCR検査の抜本拡大や誰ひとり取り残さない支援策の拡充などを求める第5次緊急要望を提出し、大森雅夫岡山市長と懇談しました。森脇ひさき党県副委員長と余江ゆきお衆議院岡山一区選挙区予定候補が同席しました。(要望全文は市議団ブログ <http://okjcp.jp/policy/3045> で読めます)

第5次要望は、この間重ねてきた商工関係者や医療機関、介護施設関係者との懇談や、各地域での県政市政報告会などで聞いてきた声などを基にまとめたものです。「北海道帰りの体調不良でかかりつけ医からは敬遠されるも、PCR検査は受けられない」「数年単位で長引くので、更なる事業支援が不可欠」など、皆さんの不安はとても深刻です。



市民の命と暮らし守るために公費投入を

市長は、PCR検査の対象を順次拡大してきているとした上で、「市は感染拡大防止が使命、個人の不安を解消するのにどこまで公費投入できるかという課題がある」と述べましたが、市民の命と暮らしを守り、感染拡大を防いで経済を回して行くためにも、検査の抜本拡充や、対策に市の予算を集中させることは重要です。

みんなの声で市政を動かそう

経済対策や市民生活支援、新しい学校のあり方など、まだまだ課題はあります。

多くの市民の皆さんの実情や声をこれからも市に届けて、誰ひとり取りこぼさせないよう、市政を動かしましょう。

第5次緊急申し入れの主な内容

- 1 「誰でも いつでも 何度でも」PCR検査で感染拡大抑止を
PCR検査の対象拡大／感染震源地の恐れのある地域の面的検査／社会活動に不可欠な従事者の定期検査／発熱外来の設置と周知 など
- 2 地域経済について長期的視点での支援を
休業要請と補償をセットで／支援策は継続的に／消費税減税を など
- 3 生活支援は、誰ひとり見捨てないように
市民生活把握のアンケート実施／税・料金等・医療費窓口負担等の減免／市営住宅・生活保護世帯へのエアコン設置と電気代補助／小規模な医療・介護施設への支援／人権尊重の市長メッセージを など
- 4 災害にウィズコロナで対応するために
避難所確保／障害児・者等への配慮／実効ある避難のあり方確立 など
- 5 少人数学級に踏み出そう
1クラス20人程度の小規模化／教員の大幅増／体験活動の確保 など
- 6 財源の確保にあたって
路面電車駅前乗入・吉備線LRT化・本庁舎建て替えなど事業凍結・延期・規模縮小で財源確保／事業見直し時に福祉予算は削らないこと